



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区
編集人 下町 豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

1月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【福音宣教】キリスト者の一致
【日本の教会】世界平和への責任

宮原良治福岡教区長 新年メッセージ

いつくしみから踏み出す第一歩

昨年は地震、火山噴火、台風など自然災害に苦しんだ年でした。まだビニールシートで覆われたままの家や、ひび割れや傾いたままの家に住み続けている方々や仮設住宅におられる方も沢山いると思います。多くの方々の善意の支えの中で、被災された方々と心をつなしながら、新しい年を迎えた福岡教区民の上に、神様からの祝福と平和が豊かにありますようにお祈り致します。



昨年の取り組み

昨年の福岡教区の目標は、「いつくしみの特別聖年」を制定したフランシスコ教皇様

のご意向に合わせて、「いつくしみ深く、御父のように」を目標にしながら、同時にそれまで2年間継続して取り組んだ「信仰の伝達」を具体的な目標にしました。そして、その目標に沿って各小教区や各地区で具体的に取り組んだ活動の裏が「教区の日」のミサ聖祭の中で神様に奉納されました。昨年は、教皇様の大勅書などの具体的なご指導

今年の目標

もあり、教区目標の「信仰の伝達」が教区民の中になんか浸透しているとの手応えがありました。主任司祭と教会役員さんをはじめ、教区の目標に誠心誠意ご尽力くださっている皆様に敬意を表し、心から感謝を申し上げます。

今年の取り組み

各小教区や共同体で昨年実践した特別聖年の取り組みを参考にして、今年はそれをさらにもつと具体的な取り組みになるように企画・推進してくださるようお願いいたします。教皇様は上記の使徒的書簡の中で、「①ミサ聖祭、ゆるしの秘跡、病者の塗油を通していつくしみを記念し、体験し、実現するように。②聖書を通して具体的にいつくしみに出会う、触れ、身近なものにするように。③助けを必要としている人々に寄り添うこと」によっていつくしみを豊かに体験し続けるように」と願っています。特に、ミサ聖祭では冒頭から、「主よ、あわれみ給え」「キリスト、あわれみ給え」と繰り返して、「全能の神が、私たちをあわれみ、罪を赦し、永遠のいのちに導いてくださいますように」と宣言しますが、会衆の祈りと御父との対話の中で、いつくしみが終始一貫して具現されます。ゆるしの秘跡に關して、教皇様は、ヨハネ福音書で紹介される姦通の現行犯で捕まった女性に対するイエスの

時の話題

いつくしみの案内人

昨年（2016年）は佐賀地区の宣教司牧評議会と女性の会が設置され、地区全体で信仰活動を考え、実施していくという事で取り組みができました。佐賀地区の司祭団も修道会も信徒もひとつになつて諸々のことを頑張っていました。その成果がみられた恵みの年でした。さらには、いつくしみの特別聖年にあつ

て、佐賀教会は聖年の巡礼指定教会にも選ばれ、多くの巡礼者と出会い、祈り、お茶をしながら分かち合う恵みもいただきました。「聖年の扉をくぐつて恵みをいただきたいとする人たちが、全免償をいただきたいとする巡礼者」を待ち、案内する中で、私たちもいつくしみ深い神様の道具となつていくことに気づかされた大きな喜びの時でした。

いつくしみの特別聖年は閉幕しましたが、体験させていただいたお恵みをこれから多くの人に分かち合っていくように手を握る。（大勅書15）ように努力しました。「信仰の伝達」は困難だと諦めてしまふ傾向があるかもしれませんが、現実には確かに厳しいです。もし信仰を重荷、義務、務めなどの側面しか受け止めないなら、前向きになれないかもしれません。しかし、信仰とは、真心から信頼できるお方との出会いであり、すべてを委ねることの出来るお方との交わりであり、そこには信頼と喜びと希望が溢れているはず。その延長線上に、人に優しく、寛大で、共感し、ゆるしの心を持つことができるようになり、教皇様が切望なさっている「いつくしみの効果的な証人」になることができるのです。今年は特に青少年への信仰伝達と教会を離れている方々への配慮に力を注ぎたいと思います。

「神の母マリア」の祭日から始まった新しい一年。私たちは、数日前に「主のご降誕」を盛大にお祝いした。きれいに飾った馬小屋に幼子イエス様の姿があり、見守るマリア様、ヨセフ様、駆け付けた羊飼いの、かわいい羊たちの姿が印象的だった。そして一週間後に迎えた「神の母マリアの祭日」。神の御子を宿し、産み、育てたマリア様のことを忘れないように。そのマリア様から私たちも見守ってもらえますように。いつも主とともにいられたマリア様に倣えますようにという意味からか、この聖なる日を迎えるのである▼マリア様のことと思うとき、「マリア様と我が子イエス様と他者との関わり」が思い出される。天使ガブリエルがマリア様に「受胎告知」をした場面があり、その時に親戚エリザベトの身重を聞いて、山地を超えて駆け付けたマリア様の姿もある。そして、エリザベトに挨拶された時にエリザベトのお腹の子（後の洗礼者ヨハネ）が喜び踊った場面もあれば、イエス様が成長されて、エルサレムに行かれた時、イエス様を見失つて探し回るマリア様とヨセフ様の姿もある。マリア様はイエス様や他者との関わりについていつも心に留めておられた。ということ、今も私たちを天から見守つてくださることから、私たちとの関わりも心に留めていくべきである。ならば、マリア様に「私たちがいつも、どんな状況でもマリア様やイエス様と共にいるという自覚を持てるようにしてください」と願いたい。（S）

イ・ハヌン神学生助祭に

2年前に韓国大邱（テグ）教区より派遣されて来日、現在、日本カトリック神学院福岡キャンパスに在学中（神学科3年生）のイ・ハヌン神学生は、このたび所属する大邱教区大司教の叙階許可が下り、大邱教区のカテドラルで助祭に叙階されることになりました。助祭叙階式は2017年1月17日（火）10時からです。どうぞお祈りください。

今村信徒発見150周年

信仰のみのり

～信仰の伝達、共に語り伝えよう！～

今村・本郷両小教区では2月26日に今村信徒発見150周年の記念日を迎えます。

【記念ミサ】

日時：2月26日（日）10時から

会場：今村教会

（福岡県三井郡大刀洗町大字今707）



対する責任、私たちの旅路を支え続けておられる復活した主の力に伴われていくという確かな信頼などが、逆境を通してさらに強められました。その体験は、私たちのまなざしをもつと真剣にいつくしみの方に向けるように促し、キリストによつてもたらされた救いの業に協力するように招き、その歩みをさらにもう一歩進めるように勧めているからです。

「無関心という壁を壊すことができるようにすべての人に心を開き、世界の悲惨さと尊厳を奪われた多くの兄弟姉妹の傷をよく見るために目を開き、助けを求める人々の叫びに気付けるように耳を開き、私たちの存在と友情と兄弟愛の温もりを感じ取って頂ける

いつくしみの応答としての信仰の伝達

私たちは、昨年の特別聖年に関する教皇様の呼びかけに従って、「信仰の伝達」に特に力を入れました。具体的に、「無関心という壁を壊すことができるようにすべての人に心を開き、世界の悲惨さと尊厳を奪われた多くの兄弟姉妹の傷をよく見るために目を開き、助けを求める人々の叫びに気付けるように耳を開き、私たちの存在と友情と兄弟愛の温もりを感じ取って頂ける

最後に

今年2017年は福岡教区創立90周年目になります。つまり、10年後の2027年は教区創立100周年を迎えることとなります。10年後の教区創立100周年記念を単なる惰性の繰り返しによる年月

カトリック福岡教区司教

トドミニコ宮原良治

タグレ枢機卿 久留米教会訪問

Visit of His Eminence Luis Antonio G. Cardinal Tagle to Kurume-Fukuoka



On the occasion of celebrating the 15th year anniversary of Kurume Parish English Mass Participants-Bible Study Group (KPEMP-Bible Study Group), His Eminence Luis Antonio G. Cardinal Tagle visited Kurume Parish in Fukuoka on 30 October, 2016. More than 300 Filipino coming from different areas in

Fukuoka Diocese gathered and celebrated the anniversary.

In his talk, Cardinal Tagle said that "we, all baptised, are missionaries. We have mission. We bring good news to people wherever we are." As we lived Jubilee of Mercy, he underlined the importance of becoming missionaries of God's mercy, tenderness and gentle love of God.

On the next day, Cardinal Tagle visited Sr. Mary's Hospital in Kurume and Tetori Parish in Kumamoto and disaster area of Kumamoto Earthquake.

フィリピン・マニラ大司教区の司教ルイス・アントニオ・タグレ枢機卿が久留米教会英語ミサ聖書勉強会グループの15周年記念行事に参加するため、10月30日(日)、久留米教会を訪れた。教区内のフィリピン人約300人が熱烈に歓待し、聖堂を埋め尽くした。

タグレ枢機卿は久留米教会聖堂に到着してすぐ、祭壇前にひざまずき沈黙の祈りを捧げた。森山信三神父(久留米教会主任)は「フィリピン共同体を励ますために訪れてくださったことを感謝します」とタガログ語を交え挨拶した。

その後、枢機卿による英語での講話が行われた。講話の始めに、フィリピン人を温かく受け入れている日本の共同体に向けて謝辞が述べられた。講話では「すべての洗礼を受けている人、すなわち私たちは『宣教師』です。わたしたちが主の良き知らせを人々に届けるのです」と語った。また、いつくしみの特別聖年で呼びかけられているように「人々に神の慈しみを届ける宣教師」となりましょうと会衆を励ました。

講話の後のミサと祝賀会にて、15周年を迎えた聖書勉強会グループのこれまでの歩みへの感謝と喜びを共に分かち合った。

枢機卿は翌日31日(月)に聖マリア病院(久留米市)と熊本の手取教会及び熊本地震の被災地を訪問した。



「福音は理屈ではない」と語る古巣神父

激動の時代に様々な試練を受けながら信仰を深め、追放者となり、ついにマニラで生涯を閉じる。しかし右近は、どこに追放されてもそこを宣教地と定め、キリシタンの大旦那と呼ばれるほど「ミゼリコルディア(慈悲)」を大切に生きていく。彼が受けた福音は、『ドナ・キリシタナ』(第12章)の中にあつたのだ。

12月3日(土) 大名町教会において約200人が古巣馨神父(長崎大司教区司教)の講演に耳を傾けた。師は、「なぜ教会は、福音を鮮やかに生きた人を繰り返して伝えて列福、列聖するのでしょうか」と問いかけ、フランシスコ教皇の言葉を伝えながら、「そこに残したい事 伝えたい事があるのです。キリストの福音は、目の前に生きた人を通して」

高山右近という生き方
いま、降りていく人へ

してしか神はすがたを見せないのです」と語った。そして高山右近を伝えようとした5年前、東日本大震災が起き、押し寄せてくる真つ黒な波に向かつて降りていき、「早く早く高台に逃げてください。生きてください」と叫ぶ人々を見た時、「あ、ここに高山右近がいた」と思った事を話した。「身分のある家に生まれた右近は父タリオ(高山飛騨守)とともに信仰を受け、



マッケイ神父より祝福をうける参加者

12月4日(日)、「聖霊による刷新・九州合同祈りの集い」が、手取教会(熊本市)の信徒会館ホールにて行われた。朝から雨が降り続く悪天候。それでも福岡、北九州、佐賀、鹿児島からも参加者が70人以上が集った。

父なる神の慈しみに感謝して、主の祈りで始められ賛美の歌がホールいっぱい響いた。主の愛がわたしを包む、聖霊がわたしを包む、と30分程

最後はシスター松山ひろ子がアフリカのチャドの様子を証した。貧しさの中でも多くの子どもたちへ信仰が伝えられていることを映像で観て考えさせられた。「今の日本はどうなのか」と。県外からの方々と逢って懐かしさや喜びに溢れる中で、司祭の祝福をもって終了した。(報告 安倍由子)

と語る師は、「福音は理屈ではない。日本に福音が宿る方法、教会がいやしの役割を

主の愛がわたしを包む
聖霊による刷新・九州合同祈りの集い

（報告 角田茂子）

訃報

糸永真一名誉司教
(鹿児島教区)



2006年まで鹿児島教区長を務めたパウロ糸永真一名誉司教が2016年12月10日、急性心筋梗塞によるうっ血性心不全のため鹿児島市の天陽会中央病院で逝去。88歳だった。

1928年長崎県生まれ。52年にカナダで長崎教区司祭として叙階。69年11月15日、鹿児島教区の司教に任命され、翌年の1月18日に叙階。2006年に教区司教を引退。

糸永司教の葬儀・告別式は12月16日、鹿児島カテドラル・ザビエル教会で行われた。

エドワード・ウィリアム神父
(オブレイト会)



11月23日、米国マサチューセッツ州の同会レジデンスで帰天。86歳。1930年同州ボストン生まれ。57年司祭叙階。58年来日。福岡教区内では光丘、古賀教会で司牧。全ての人の父親的存在で、司牧活動では厳しくも温かく、何事にも親身になって接し、特に悲しむ人に寄り添った。オペラが大好きで声も大きく、赤色のカーディガンを愛用していた。信者未洗者を問わず多くの人から愛されていた。

主のご降誕と新年のお慶びを申し上げます

福岡地区		筑後地区	
教区長	宮原 良治司教	日本カトリック神学院福岡	キャンパス
教区本部事務局	青木 悟	Q・ベルナル	湯浅 俊治
司教館付	田川 清美	平田 直	
(木の葉の里) A・テムペリー	山頭原太郎	井手 公平	
司祭の家	島山 七郎	森山 信三	
糸島	浦 俊雄	竹内 英次	
大楠	田中 重治	W・キップス	
古賀	P・ジュード	飯塚	
笹丘	R・S・ステイフエン	黒崎・天神町	
浄水通・茶山	遠山 満	小倉・門司	
大名町	今田 昌樹	新田原	
高宮	寺浜 亮司	田川・直方	
西新	ピーター・トアイ	戸畑・若松	
箱崎	杉原 寛信	水巻	
光丘	イム・ドンビン	湯川	
吉塚	D・ジョンソン	行橋	
老司	Br.橋谷 安憲	伊万里	
イエズス会	中村 彰	鹿島	
	アントニオ・リ	唐津	
	平田 敬	佐賀	
	O・ベルナルド	多賀・武雄	
	古川 健一	鳥栖	
	夫津木 昇	馬渡島	
	山内 保憲	呼子	
	S・オチヨア	トラピスチナ	
	J・メデイナ	熊本地区	
	泉 類治	荒尾・玉名	
	Br.松島 忠雄	V・アンソアネッロ	
	永富 久雄	崎津・大江・本渡	
	夫津木 昇	手取・帯山	
	Br.阿部 光一	菊池	
	染野 治雄	健軍	
	来住 英俊	島崎	
	B・ガブリエル	人吉	
	内山 恵介	武蔵ヶ丘	
	鈴木 忠一	八代	
	Br.笹田 六合豊	水俣	
	山村 憲一	真命山	
	谷口 尚志		
	美野島司牧センター M・コース		

【月例黙想会】
期 日：①1月14日(土)17時～15日(日)15時 ②2月18日(土)17時～19日(日)15時
指導者：染野 治雄 神父(福岡黙想の家主任)
費 用：8,700円(税込・指導料含む)
◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで ◆詳細はお問合せください

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222 (9:30～16:30)
Fax 0940-32-3385 Eメール f-mokuso@fmokusou.com
インターネットで検索

福岡黙想の家 検索

ミサ用ワイン

VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 [SOU-EN]

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

第69回福岡市民クリスマス

救い主の誕生は「絆の誕生」



「絆の誕生」について語る奥田牧師（右）

「今年も福岡市のみなさんに、救い主キリストの誕生を知らせたい」と12月5日（月）午後6時半、「第69回福岡市民クリスマス」が福岡市民会館（福岡市中央区）で開催され約600人が集った。主催は、市内のキリスト教諸派で

つくる福岡市民クリスマス実行委員会。今回は、クリスマスコンサートと講演の2部構成。コンサートではシンガーソングライターの上原令子さんがベック由美子さんのピアノ伴奏でクリスマスソング、自作の曲と語りで会場を魅了した。上原さんが届けたメッセー

「絆の誕生」について語る奥田牧師（右）は、「間違えて生まれた命はない。神が愛されたから生まれた」と。父親の顔を知らないで生まれ、困難な思春期に「あなたは愛されている」というキリストの言葉と出会った体験からほとぼしる歌と言葉だった。

第2部は、日本バプテスト連盟東八幡教会の牧師で25年以上、ホームレス自立支援を続けている奥田知志師の講

光丘教会 募金活動

子どもたちの「信仰伝達」



駅前で募金活動を行う子どもたち

が中心になって一昨年から募金活動始めた。募金活動中に、子どもたち全員の募金箱に小銭を入れた後、わざわざ千円札を出して、一番大きい声を出す子の手に持たせ、「よく頑張ったね。」とほめてくださった方がいたり、お金を入れながら、「日本にも貧しい子どもたちが沢山います」と気持ちを分かち合ってくれた方もいました。

今年も、ネパールの子どもたちのミルク代を集めることができた上に、沢山の地域の方々に教会の募金活動をご理解頂けたことにより、子どもたちがしっかりと「信仰伝達」を体験できたのではないかと思います。この大いに意義のある活動は、今後もぜひ続けていきたい。

（報告）柳淑眉

演。奥田牧師は、「クリスマスは救い主の誕生です。救いとはなんでしょう？」と問いかけ、「二つの救いは問題や困難の解決など、二つ目は、もっとも大切なことで『罪のゆるし』です。しかし今日は三つ目の救いを話したい」、「救い主の誕生は、絆の誕生だ」といいます」と永年支援を続けているホームレス自立支援から見えるメッセー

家族がいない。ホームレスです。救い主の誕生です。救いとはなんでしょう？」と問いかけ、「二つの救いは問題や困難の解決など、二つ目は、もっとも大切なことで『罪のゆるし』です。しかし今日は三つ目の救いを話したい」、「救い主の誕生は、絆の誕生だ」といいます」と永年支援を続けているホームレス自立支援から見えるメッセー

鳥崎教会「教会音楽の夕べ」主よ、被災地熊本にやり給え



音楽にて祈りをささげる演奏者たち

11月27日、被災地熊本で迎える待降節の最初の主日に、鳥崎教会にて第四回、「教会音楽の夕べ」が開かれた。参加者は教会内外から約90人。最初の合唱曲は、グレゴリオ聖歌「サルベレジーナ」である。この歌詞は、聖母マリアへの祈りであり、これは、正しく元后あわれみの母への被災地熊本からの叫びでもあった。

11月27日、被災地熊本で迎える待降節の最初の主日に、鳥崎教会にて第四回、「教会音楽の夕べ」が開かれた。参加者は教会内外から約90人。最初の合唱曲は、グレゴリオ聖歌「サルベレジーナ」である。この歌詞は、聖母マリアへの祈りであり、これは、正しく元后あわれみの母への被災地熊本からの叫びでもあった。

「タンクトウムエルゴ」が、古式ゆかしく合唱された。この後、典礼聖歌「私は静かに神を待つ」が肅々と合唱された。これはこの後に続く、カトリック聖歌の中で待降節を代表する曲の前段をなすものであった。そして、伝統ある曲、「来ませ救い主」が肅に合唱された。

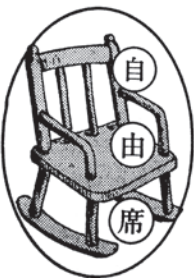
（報告）高木光行

第49回 クリスマスお遊戯会 一鹿島カトリック幼稚園



12月11日。見上げると、冬空とは思えないほどのコバルトブルーが一面に広がっていた。マリア様の祝福の色に包まれて遊戯会が始まった。縁あって預からせてもらっている園児達だが、それぞれの宗教・宗派にとらわれず、皆が一緒にお祝いするイエス・キリストのご誕生。子ども達は舞台上で、歌ったり、踊ったりして、成長した姿と飛びきりの笑顔で、イエス様と見てくれた人達を喜ばせた。そして最後に聖劇「クリスマス物語」を全園児で演じて遊戯会を締めくくった。

時の流れとともに、サンタクロースからプレゼントをもらう日がクリスマスという日になっているのは寂しい。本来のクリスマスとは神の祝福を頂く日である。聖劇を通して、神の祝福であるイエス様のご誕生と愛するわが子の誕生を重ね合わせて見てくれた人も多かったのではないかと思います。中には、「子ども達の成長を感じました。そして命の尊さと誕生の神秘を深く味わいました。とても幸せな時間でした」と話してくれた人もいた。（主幹 橋本千恵美）



クリスマスカード

帯山教会 多田由理

「クリスマスくらいは、クリスチャンの心と祈りのこもったクリスマスカードを届けたら素敵だ。」西原村に暮らし、小森仮設団地を住みかとする西原村の被災者たちの暮らしの様々なニーズに応えて奔走するクリスチャンの皆さんの言葉に、私も協力したいと思った。でも、どうやったらできるかしら。翌日、亡き母の友人から小包が届いた。中には美しいクリスマスカードが5枚入っていました。

◆原稿は400字以内
◆投稿先・福岡カトリック司教館 教区報係宛
FAX 092・523・2152
メール cdf-kouhou@nifty.com



☆教皇フランシスコ講話集3



2015年内の発言を集めた教皇フランシスコの講話集。教皇庁定期訪問中の日本司教団への講話、回勅『ラウダート・シ』の教えをさらに具体的に情熱をもって語った、草の根市民運動国際大会（ボリビア）や国連総会での演説、いつくしみの特別聖年開年ミサ説教などを収録。

カトリック中央協議会発行 1100円＋税



☆森の静けさの中でーカルメルの伝統における祈りー 福岡カルメル会訳著



英国・ロンドン中心部にある禁域と言われる女子カルメル会。シスター方は静かな沈黙の祈りの生活によって神との親しい交わりをもって生きている。本書は、神を求める読者に祈りへの道しるべとなる方法を示してくれる。

サンパウロ発行 税込価格1296円

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町カトリック教会 1F
平日/AM 10時～PM 5時40分
日・祝日/AM 11時～PM 4時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

年間目標

いつくしみから
踏み出す第一歩

キリスト教一致祈祷週間 1月18日～25日



2017年度の「キリスト教一致祈祷週間」は、「和解—キリストの愛がわたしたちを駆り立てています」(2コリント5,14～20)をテーマに実施されます。福岡での一致祈祷集会は次の通りです。

日 時：1月22日(日) 18時～19時

場 所：日本聖公会 福岡聖パウロ教会
(福岡市中央区草香江2-9-22)

司式者：武藤謙一主教(日本聖公会)

説教者：三田照雄牧師(鳥飼バプテスト教会)

主 催：福岡キリスト教一致祈祷会実行委員会

福岡教区修道女連盟研修会

★信徒の皆様もどうぞご参加下さい。

日 時：1月9日(月・祝)

10時～11時半 講演

11時40分から ミサ

場 所：カテドラル大名町教会

講 師：平林冬樹神父(イエズス会)

テーマ：高山右近 その人と信仰～光への道～

主 催：福岡教区修道女連盟

2017年 北九州地区聖書講座

<年間テーマ>近づいて来られるイエスを知り、イエスと出会う～福音書をとおして典礼季節とともに

日 時：1月29日(日) 14時～16時30分

場 所：カトリック小倉教会 参加費：無料

講 師：牧山美好神父(新田原主任司祭)

テーマ：イエスの誕生の「物語」をとおして

主 催：北九州地区信徒使徒職協議会 聖書部会

問合せ：松尾隆 ☎090-7580-3494

福岡教区クルシリヨ事務局より

第52回クルシリヨは2017年5月4日(木)から6日(土)まで、「福岡黙想の家」にて開催いたします。

結婚講座(福岡・熊本地区)

<福岡地区>

日 時：1月14日～2月11日 毎土曜日 19時～21時半

場 所：カトリック大名町教会

問合せ：☎092・741・3687

<熊本地区>

日 時：1月28日～2月25日 毎土曜日 19時～21時半

場 所：カトリック手取教会

問合せ：☎096・352・3030

※参加費：カップルで10,000円(カップルでの参加が原則)

福音と平和のつどい

<テーマ>いのちを大切に社会をめざして
—見て、聞いて、知って、働く—

日 時：2月11日(土・祝) 10時～16時30分

場 所：カトリック大名町教会

基調講演：Sr. マリア・コラレス(聖母被昇天修道会)

★詳細は各小教区に配布されているポスター・チラシをご覧ください。

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案 内 板

会合と催し

1月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 1月

7日(土) ロザリオの会～黙想と祈り～10時～15時(指導：内山神父)
14日(土)～15日(日) 月例黙想会(参加歓迎致します)

【2月】
4日(土) ロザリオの会～黙想と祈り～10時～15時(指導：内山神父)
10日(金)～11日(土) 聖マリア在俗会
18日(土)～19日(日) 月例黙想会(参加歓迎致します)

※ただいま、ホームページ休止中です。

直接お電話またはメールでお問合せください。

*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 ㊦0940・32・3385

Email: f-mokuso@fmokuso.com

インターネットで検索

福岡黙想の家

検索

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：山上の教え

・日 時：1月12日(木) 10時～15時

・内 容：幸せの道・イエスの山上の垂訓(マタイ5～7)

指 導 者：ロッコ神父(真命山副院長)

問合わせ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター

・次 回：2月9日(木) 心の貧しい人々は… マタイ5・3

☎0968・85・3100 ㊦0968・85・3186

玉名郡和水町蜻浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

カテドラルでのゆるしの秘跡

日 時：1月7日、21日、2月4日、18日

10時～11時45分

場 所：カトリック大名町教会小聖堂

◆ 福岡

■聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時)毎週月曜11時～12時半(場所)大名町教会1階(内容)賛美と感謝の祈り・聖書の分かち合い(問合せ先)☎092・521・2503 蓮尾

■聖ドミニコ信徒会集会(日時)1月7・21日(土)14時～16時(場所)箱崎教会(内容)ミサ・聖ドミニコについてのお話(指導)アントニオ・李神父(ドミニコ会)(問合せ先)☎092・651・388 67箱崎教会

■レジオマリエ福岡クリア(日時)1月8日(日)14時から(場所)高宮教会(問合せ先)☎090・5936・3831 今野

■福岡ホスピスの会 第5回がん哲学外来「ぬくみカフェ」(日時)1月8日(日)14時～16時(場所)大名町教会4階会議室(内容)「がん」を通して人生を語る会。当事者・家族・友人・その他なたでも参加可。25人限定(要申込)(参加費)会員無料・一般500円(問合せ先)☎090・162・6395 柴田

■福岡召命を共に祈る会(日時)1月10日(火)13時半から(場所)大名町教会(内容)養成委員会の司祭方との交流

会、ロザリオの祈り(問合せ先)☎092・921・4532山口

■震災のための祈りのリレー(日時)1月11日(水)ミサ6時半から・夕の祈り(テゼの祈り)19時15分から(場所)笹丘教会(問合せ先)☎090・2305・5191 Br.阿部(パウロ会)

■在世フランシスコ会集会(日時)1月15日(日)14時から(場所)高宮教会(指導)ジョンソン神父(カプチン修道会)(問合せ先)☎092・843・5831 岩崎

■グレゴリオ聖歌を歌う会(日時)1月17日(火)11時から(場所)聖クララ寮(内容)グレゴリオ聖歌ミサとベネディクション(問合せ先)☎096・380・5686 堺

■聖書に集う会(日時)1月18日(水)14時～15時半(場所)サンパウロ福岡宣教センター3階ホール(問合せ先)☎090・2305・5191 Br.阿部(パウロ会)

■虹の会(子どもをなくした親の会)(日時)1月21日(土)14時～16時半(場所)大名町教会3階会議室(参加費)600円(茶菓子代)(問合せ先)☎090・1162・6395 柴田

■新年の黙想会(日時)1月22日(日)9時半～

16時頃(場所)聖パウロ修道会福岡修道院(テーマ)真の幸いを証しするイエス(指導)澤田豊成神父(聖パウロ修道会)(対象)未婚のカトリック女性信徒・奉獻生活特に在俗会について関心のある方(参加費)1000円(昼食代含む)(申込・問合せ)1月15日まで sp-insa@sampaolo.or.jp ☎090・1746・2005

7山野井(聖マリア・アンヌンチアータ会)

■カルメル在世会集会(日時)1月23日(月)10時半から(場所)福岡女子カメル会修道院・テレサの家(内容)ミサ・講話(指導)中川博道神父(カルメル会)(問合せ先)☎095・828・2350 鶴池

■ラスキン黙想と祈りの集い(日時)1月27日(金)19時45分から(場所)大名町教会小聖堂(問合せ先)☎090・2305・5191 Br.阿部(パウロ会)

■美野島司牧センター
あなたの勇気が路上の命を支えます!◆ホームレスの方に手作りお昼ごはん 毎週火曜日10時30分(1月3日休み)◆越冬期ホームレス支援夜回り毎週金曜日20時◆路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日13時(問合せ先)

◆ 北九州

■北九州召命を共に祈る会(日時)1月12日(木)14時から(場所)小倉教会(内容)ミサと茶話会(問合せ先)☎0949・244・9905 藤井

■小倉祈りの集い(日時)1月27日(金)13時半～15時(場所)小倉教会信徒会館2階(指導)牧山勝美神父(内容)みことばを味わう・賛美と感謝の祈り(問合せ先)☎090・3985・5209 松田

佐賀

■佐賀祈りの集い(日時)1月13日(金)10時～12時(場所)佐賀カトリック会館(内容)ミサと祈り(次回)1月13日(金)(問合せ先)☎0952・30・8347 吉武

熊本

■日本カトリック看護協会福岡支部例会(日時)1月22日(日)14時から(場所)幼きイエス修道会内坪井修道院(内容)デンニ神父の講話と分かち合い(問合せ先)☎080・7988・6995 牧山

■聖霊による刷新熊本祈りの集い(日時)毎週金曜日10時半～12時(場所)手取教会信徒会館(内容)賛美と感謝の祈り・聖書と典礼の分かち合い(問合せ先)☎096・384・1693 中川

編集後記

主の平和がありますように。今年もどうぞよろしく。

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は

メモリーホール

業院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚

市民葬儀・法事相談センター

六本松店・赤坂店 福岡メモリーホール(検索)

0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院

内科・歯科臨床研修指定病院
地域医療支援病院
救命救急センター

総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院

*入院基本料(一般病棟7:1)

〒830-8543

福岡県久留米市津福本町422

TEL0942-35-3322(代表)

FAX0942-34-3115

http://www.st-mary-med.or.jp

一緒に働きませんか?
＝募集＝

医師・看護師・医療技術職

痛みの相談室
いくま整骨院

平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日

福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F

TEL 092-884-0134

ペトロ 生熊吉古

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!

http://www.paulus.jp

パウルスショップ



メディアによる福音宣教のために...

サンパウロ福岡宣教センター

10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 *駐車場完備

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax 739-3930